

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) ナカシマプロペラ株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒709-0625 岡山市東区上道北方688-1	
本票作成	部署名：総務グループ				
主たる業種	分類コード	23	業種名：非鉄金属製造業		
事業の概要	博要旨新規の開発・製造・販売				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉島工場		倉敷市玉島乙島8259-12	
	②	岡山工場		岡山市東区上道北方688-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和3年度)	(令和4)年度排出量	目標年度(令和5年度)
	11,127 t CO ₂	11,858 t CO ₂	10,906 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和4)年度排出量
	①	玉島工場	10,502 t CO ₂
	②	岡山工場	1,356 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和4年度 ~ 令和5年度 (2箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(4)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	3.3 %	2.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(4)年度	目標年度
		1.079 t CO ₂ /(t)	1.044 t CO ₂ /(t)	1.058 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和4年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・2020~2021年度の急激な受注の縮小により、生産効率が大幅に低下してしまった。
 ・2018~2019年度は年平均1%以上の改善が行えてきたが、急激な受注減により主に電気炉の溶解効率が大幅に低下し、全体の原単位低下を招いた。
 ・新型コロナ対策により、業務を行う場所を分散させる為、照明の消灯エリアが縮小、エアコンの稼働エリアの拡大、窓を開けた状態での、エアコン使用などにより製造効率が低下し、2020~2021年度の原単位が大幅に悪化した。その影響で、5年間分の原単価が悪化してしまった。コロナ終息により2022年度から原単位が改善し、今後も改善されるの見通し。
 ・LED採用、省エネ対応のコンプレッサーへの更新など省エネ対策を行っているが、それを上回る原単位低下となった。

【推進体制】

・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制を整備している。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
玉島工場	(令和4年度実施分)
岡山工場	・ E棟 鑄造職場の水銀灯46台をLED照明に更新した。
岡山工場	・ 自家消費型太陽光発電設備 (PPA) を設置した。
岡山工場	(今後実施予定分)
全社	・ S3倉庫太陽光パネル設置
	・ 非化石比率の高い電力メニューへの転換 (2023年~2030年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・電気炉での溶解が終了したと同時に、鑄込作業を行い、電気炉での保温時間を短くし、使用電力量削減に行った。
・年末年始の長期休暇にコンプレッサーを停止した。
・夏至と七夕の日に、工場の看板照明を消灯した。
・連休期間は、電気炉用冷却水用ポンプを停止させ、使用電力量削減を行った。
・昼休み時間に工場・事務所の照明を消灯することを徹底するよう、全社に通知した。
・エアコンの冷房温度を28度設定で運用するよう、全社に通知した。